

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 57001124
PUBLICATION DATE : 06-01-82

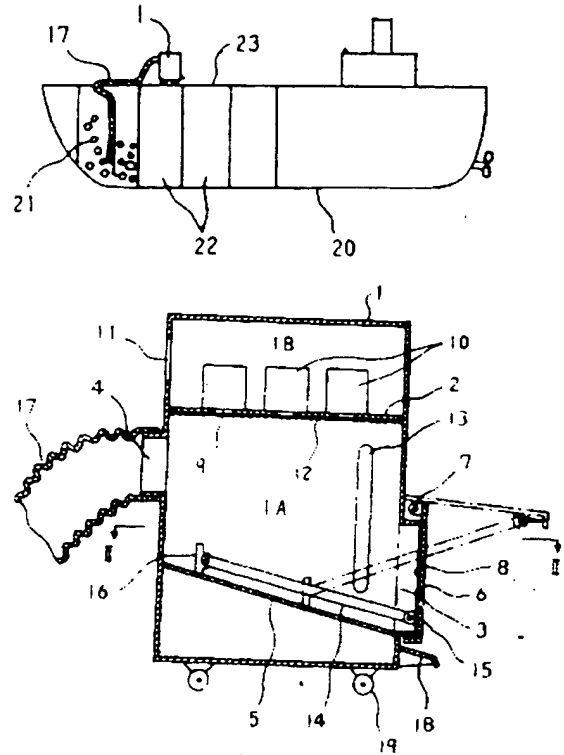
APPLICATION DATE : 27-05-80
APPLICATION NUMBER : 55071951

APPLICANT : YAHATA DENKI SEIKOU KK;

INVENTOR : HIRAI SUSUMU;

INT.CL. : B65G 53/30 B65G 51/02 F25C 5/02

TITLE : CRASHED ICE CONVEYOR



ABSTRACT : PURPOSE: To transport a crashed ice easily by providing an ice crashing room and a blower room in a movable casing, which is used when transporting the crashed ice from an ice room of a fisherboot, for making the inside pressure of the ice crashing room to be negative by means of the blower.

CONSTITUTION: When a blower 10 is operated, the air inside an ice crashing room 1A is evacuated from an air evacuation opening 11 to the outside. Therefore the air pressure inside the ice crashing room 1A becomes a negative pressure for a lid 6 to be pressed around the periphery of an exit 3 and also for the crashed ice inside an ice room 21 to be sucked into the ice crashing room 1A. When the amount of the ice reaches a certain prescribed quantity, the blower 10 is stopped. Owing to the stoppage of the blower 10, an outside air enters into the ice crashing room 1A to make the inside air pressure to return to the normal atmospheric pressure from the former negative pressure for the crashed ice to be evacuated through the exit 3 into a fish tank 22. Thus by opening/closing the lid 6 which covers the ice crashing room 1A from outside, the crashed ice can easily be fed to the fish tank 22 which needs the crashed ice.

COPYRIGHT: (C) JPO

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑮ 公開特許公報 (A)

昭57—1124

⑯ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑰ 公開 昭和57年(1982)1月6日

B 65 G 53/30

6818—3 F

51/02

6818—3 F

F 25 C 5/02

7714—3 L

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑱ 碎氷移送機

番地八幡電機精工株式会社内

⑲ 特 願 昭55—71951

⑳ 出 願 人 八幡電機精工株式会社

㉑ 出 願 昭55(1980)5月27日

北九州市八幡西区大字本城2805

㉒ 発 明 者 平井進

番地

㉓ 代 理 人 弁理士 今井義博

北九州市八幡西区大字本城2805

(1)

明 細 書

1 発明の名称

碎氷移送機

2 特許請求の範囲

1 碎氷室とブロー室をそなえたケーシングと、前記碎氷室に吸込口と排出口、および排出口を外周から軽い気密に接触する蓋を設け、ブロー室にブローと前記碎氷室に連なる通気口および排気口をそなえ、前記吸込口に連結した可撓吸込管を設けたことを特徴とする碎氷移送機。

2 碎氷室の底に排出口に向かって低くなるように傾斜する中底をそなえた特許請求の範囲第1項記載の碎氷移送機。

3 一方端を蓋の内側にヒンジで取りつけたアームをそなえ、このアームの他方端に碎氷室の底板上を移動する滑き板を設けた特許請求の範囲第1項記載の碎氷移送機。

4 碎氷室の底部に排出口を設け、この排出口を下方から軽い気密に接触する蓋をそなえ、前記蓋が開いたときに蓋の上面が碎氷の排出路を構成す

(2)

るようにした特許請求の範囲第1項記載の碎氷移送機。

3 発明の詳細な説明

本発明は魚船の貯氷槽に収容されている冷蔵用碎氷を魚槽に移し替える場合などに用いる碎氷移送機に関するものである。

従来、魚船は船槽のノつまたは敷板を貯氷槽として出港時に冷蔵用の碎氷を積載し、あるいは船上で製氷して貯氷槽に収容し、この碎氷を魚場で魚を収納した魚槽に移し替えており、この移し替えには、人手によって碎氷を運び出したり、簡単なリフトを貯氷槽の壁にとりつけて、このリフトに碎氷を積み込んで甲板に運び上げ、必要な魚槽に投入しているが、貯氷槽の深さが3〜4 mあり、碎氷の搬出やリフトへの積み込み、および魚槽への運搬に労力を要し、魚場での労力が増大する。また大形の魚船では船上に製氷設備とともに貯氷槽から各魚槽へ氷輸送管を配設したものがあるが、設備費が大きく小形魚船には不向きである。

本発明は、このような点にかんがみ、移動式の

(3)

砕水搬送機によって、貯水槽から魚槽への砕水の移送を簡単に行ないうるようにしたもので、これを図に示す実施例について説明する。

1はケーシング、2はケーシング内を砕水室/Aとブロー室/Bに分断する仕切板、3は砕水室/Aの前下方に設けた排出口、4は砕水室の上部に設けた吸込口、5は中底で砕水室内の排出口に向かって低くなるよう傾斜させてある。6は排出口を外側から傾り蓋でヒンジ7でケーシングに開閉できるようにとりつけてある。8は蓋の内部に設けたパッキン9、9は仕切板2に設けた通気口、10はブロー、11は排気口、12は砕水がブロー室に吸込まれないようにした通気管、13はケーシング側面に設けた検出窓でガラスなどで内部が見えるようにしてある。14は一方端を蓋6の内部にヒンジ7で支持されたアームで、他方端に中底5上を滑る滑き板16を取りつけてある。17は吸込口4に連結した可撓性ホースからなる可撓吸込管、18は排出口3にとりつけた案内板、19はケーシング下面にとりつけた取柄

(5)

中底5上に砕水が積る場合は、蓋6を第4図開閉機のように開くことによってアーム14が引き出され、これに伴って滑き板16が中底5上を滑って砕水を掻き出すことができる。

なお、蓋6は砕水によって自動的に開かれるが適当なばねをとりつけて開かせるようにし、または人手によって開いてもよい。

第4図は他の実施例を示すもので、砕水室/Aの底に排出口3を~~ヒンジ7~~を設け、この排出口3のヒンジ7にパッキン8をそなえ、ケーシングに傾斜された蓋6が下方から前記排出口3にパッキン8を介して吸引圧層されるようにしてある。

したがって砕水室/A内の負圧によって蓋6が排出口3を気密に塞ぎ底版を形成して砕水を収納し、ブロー10の停止により砕水室/A内に空気が入ると、蓋6は自重と砕水の重さで点検で示すように傾斜し、砕水はこの蓋の上を排出口としてケーシング外に搬出される。この実施例では砕水の排出時に蓋6が急激に落下するため、砕水相互が激烈しかけていても落下の衝撃によって分離

(4) 特開昭57-1124(2)

である。20は船体、21は貯水槽、22は魚槽、23は甲板である。

貯水槽21内に可撓吸込管17を挿入し、車輪18により甲板23上を移動させて排出口3が所定の魚槽22の底になるよう位置させる。ブロー10を運転すると、砕水室/Aおよび可撓吸込管17内の空気は仕切板2の通気口9から吸入され、排気口11から外部に排出される。このため砕水室/A内の空気が負圧になり、蓋6はパッキン9を介して排出口3の周囲に吸引圧層されるとともに、貯水槽21内の砕水が可撓吸込管17を通して砕水室/A内に吸い込まれ中底5上に溜まる。砕水室内の水量を検出窓13から確認し、あるいは区示しない検出器で検出して所要量に達するとブロー10を停止させる。ブローの停止により砕水室/A内に通気口9を通して外気が入り、内部圧力が負圧から大気圧に戻るため、蓋6に作用する吸引力がなくなり砕水の重さによって蓋6を押し開き中底5上の砕水が排出口3から魚槽22内へ排出される。

(6)

され排出が円滑に行なわれる利点がある。

このように本発明は、移動可能なケーシング/内に砕水室/Aとブロー室/Bとを設け、砕水室/Aに排出口3と吸込口4をそなえ、排出口3を外側から傾い気密に接触する蓋6と、吸込口4に連結した可撓吸込管17を設け、この砕水室/Aと通気口9を介して連なるブロー室/Bにブロー10と排気口11を設けており、ブロー10により砕水室内を負圧にして蓋6を自動的に閉閉するとともに可撓吸込管17によって砕水を吸引し、ブロー10の停止により蓋6の閉塞を解いて砕水を排出するようにしてあるから、可撓吸込管17を貯水槽21に挿入することにより貯水槽内に作業者が入って砕水をすくいあげたりリフトに積み込む必要がなく、甲板23上を所定の魚槽の底まで移動させてブローの操作をするだけで、砕水を必要な魚槽に移し替えることができ、操作が簡単で作業環境が良く安全性を保持できるとともに、設備費が安く/人で操作できるから人手の必要な漁獲時に砕水の多し替えるために

(7)

特開昭57-1124(3)

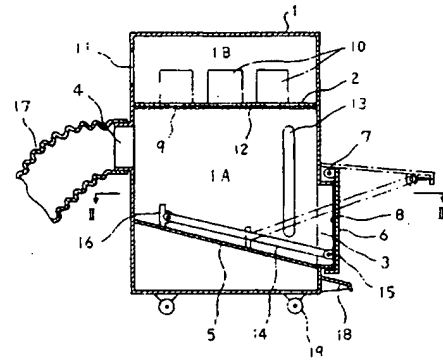
多数の努力を削減されることがないなどの効果が得られる。

4 図面の簡単な説明

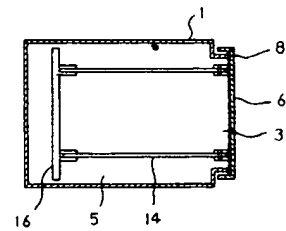
第1図は本発明の実施例を示す側断面図、第2図はII-II断面図、第3図は本発明の使用状態を示す説明図、第4図は他の実施例を示す側断面図である。

1はケーシング、1Aは貯水室、1Bはブロー一室、2は仕切板、3は排出口、4は吸込口、5は中底、6は蓋、8はパッキング、9は通気口、10はブロー一室、11は排気口、12は機出口、14はアーム、16は張き板、17は可撓板、18は車輪、21は貯水室、22は魚槽、23は甲板である。

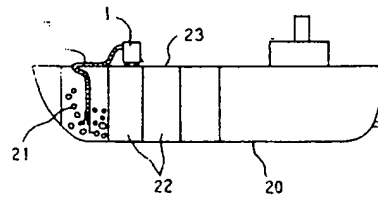
第 1 図



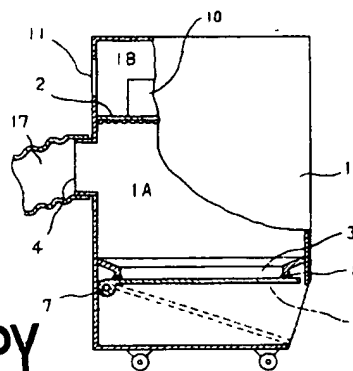
第 2 図



第 3 図



第 4 図



BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)